

事務事業名	子ども芸術文化育成支援事業		
事業開始年度	平成18年度	担当部署	地域振興部 文化観光課

根拠法令	枚方市子ども芸術文化育成支援要綱
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者: ) <input type="checkbox"/> その他( )
目的 (何のために)	まちづくりブランドの基本テーマ「教育と子育て」に基づいて、特色ある芸術文化に関する創造活動を支援し、「子どもが輝くまち・ひらかた」を実現する。
対象 (誰・何を対象に)	18歳以下の市内在住者が主体となる団体、あるいは対象とする事業を行う団体
事業内容	<p>応募団体の申請を受け、審査委員会の審査を経て、支援事業を決定している。</p> <p>対象は18歳以下の市内在住者が主体あるいは対象となる事業で、目的や内容等に特色のある舞台芸術・美術・文芸等の芸術分野の事業で、子どもの芸術文化に関する創造活動を支援する。</p> <p>事業の形態は、体験型、鑑賞型などで、市は資金助成、会場確保、広報活動の支援を行う。</p> <p>平成22年度は10団体から申請を受け、審査の結果、3団体への支援助成を行っている。</p>
事業の必要性	次世代を担う子どもを対象にした芸術文化の振興に資するために必要である。

コスト									
	H20年度決算			H21年度決算			H22年度当初予算		
	従事職員数	概算人件費		従事職員数	概算人件費		従事職員数	概算人件費	
正職員	0.5人	4,180千円		0.5人	4,129千円		0.5人	4,016千円	
再任用職員									
非常勤職員等									
人件費計(A)		4,180千円			4,129千円			4,016千円	
直接経費(B)		959千円			625千円			738千円	
総事業費(A+B)		5,139千円			4,754千円			4,754千円	

財源内訳									
	H20年度決算			H21年度決算			H22年度当初予算		
国庫支出金			千円			千円			千円
府支出金			千円			千円			千円
受益者負担 (使用料等)			千円			千円			千円
その他			千円			千円			千円
一般財源		5,139千円			4,754千円			4,754千円	

平成21年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容	金 額
	子ども芸術文化育成支援事業経費(報償費) ・審査委員会の外部審査委員への報償金(2人分)	10千円
	子ども芸術文化育成支援事業経費(負担金補助及び交付金) ・支援決定した団体への助成金(3団体)	615千円
		千円

事務事業名	子ども芸術文化育成支援事業				
事業開始年度	平成18年度	担当部署	地域振興部 文化観光課		
活動実績	活動指標もしくは成果指標	単位	H20年度	H21年度	H22年度(見込み)
	① 申請事業数	件	12	7	10
	② 支援事業数	件	8	3	3
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	③ 参加人数(観覧者数含む)	人	2,548	2,055	2,000
	① 総事業費 / 申請事業数	円	428,250	679,143	475,400
	② 総事業費 / 支援事業数	円	642,375	1,584,667	1,584,667
	③ 総事業費 / 参加人数	円	2,017	2,313	2,377
成果目標 (目標とする成果)	より広範な文化団体が子どもたちを対象とした事業を計画・実施することで団体の育成につながると考える。このため、申請事業数を指標としている。				
事業の自己評価	<p>次世代を担う子どもたちに対する、特色ある芸術文化に関する創造活動を支援することで、多くの子どもたちが地域で文化芸術活動を体験できる機会となっている。</p> <p>支援内容である会場確保について、1事業原則15回を上限に行ってきたが、一般利用者への影響が出る部分もあり、支援のあり方が課題となっている。</p> <p>これまで団体に対して子どもの芸術文化に関する創造活動を支援し育成を行うことで一定の成果を上げてきたが、申請団体が固定化し、今後は各団体の自立した運営を図っていただく段階であり、制度の根本的な検討が必要であると考えている。</p>				
今後の事業の方向性	<p>子どもたちに芸術文化に触れる機会を造るという当初の目的は一定達成されていると考えている。</p> <p>制度の根幹ともいえる資金助成、会場確保などについて出てきた課題を検討するとともに、審査の基準や支援内容の制限など制度の見直しを行いたいと考えている。</p>				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)					
特記事項					

## 子ども芸術文化育成支援事業 補足説明資料

### ●目的

枚方市内において子ども向けの芸術文化事業を実施する者に対し、事業に要する経費に対する助成等の支援を行うことにより、次世代を担う子どもに対する芸術文化の振興に資することを目的としています。次世代を担う子どもの柔軟な発想や生き生きとした豊かな心を育み、「子どもが輝くまち ひらかた」を実現するものです。

### ●支援内容

- (1) 資金助成：1件30万円以内とし、予算の範囲内で助成する。(人件費など恒常的な運営費を除く)
- (2) 会場確保：活動に必要な市施設(市長が指定する施設に限る)の確保を行う。(先行予約・使用料免除)
- (3) 広報活動：広報ひらかたへの掲載、チラシ配布の協力

### ●対象となる事業

18歳以下の市内在住者が主体あるいは対象となる事業で、趣旨・目的・規模・内容等に特色のある舞台芸術・美術・文芸等の芸術分野で次のいずれかに該当する事業であること。

- (1) 鑑賞型事業・・・各種芸術の鑑賞
- (2) 体験型事業・・・子どもたちが自ら実施体験する事業
- (3) その他事業・・・審査委員会が認めた事業

## 申請の流れ



平成 22 年度 実施予定

	事業名 *主催団体	実施日	事業内容	助成予定額
1	「子どもたちの豊かな感性を引き出し 表現力人間力を高める演劇プログラ ム体験」 *とれぶりんか劇団	10月2日～3 月6日	オーディションにより選抜された子ども たちが発声・ダンス・身体表現等を経 て上演	223,400円
2	「StageLABO.02 —舞台で学ぶイメージ」 *劇団 SE・TSU・NA	10月10日～1 月30日	体験・参加型ワークショップ、子どもたち の発案を取り入れて舞台を作っていく	300,000円
3	「こども・まち・アート in ひらかた —our place! おおきなまちづくり—」 *キッズ・アート・プロジェクト	7月24日～8 月11日	巨大地図の上に廃材で、町並みを平 面・立体で制作・展示	176,600円
合 計				700,000円

これまでの実績

年度	申請数	決定数	団体名	参加人数	決算額
平成 18	9	9	とれぶりんか劇団 枚方中部おやこ劇場 枚方こどもミュージカル実行委員会(2) 枚方演奏家クラブ 枚方南おやこ劇場 御殿山キラ星ハンドベルクワイア サークルわくわく 演劇ユニット YOU 企画	2,967人	702,210円
平成 19	15	8	和綴じ製本ひろみの会(2) (財)枚方市文化国際財団/枚方合唱協会/大阪シンフ ォニッククワイア 枚方こどもミュージカル実行委員会(2) 演劇ユニット YOU 企画 子ども和太鼓チーム「雅っ鼓」 子ども家庭サポーターの会「たんぼぼ組」	2,970人	652,538円
平成 20	12	8	枚方人形劇連絡会 枚方こどもミュージカル実行委員会(2) 和とじ製本ひろみの会(2) 枚方三曲協会 放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」 とれぶりんか劇団	2,548人	948,792円
平成 21	7	3	劇団 SE・TSU・NA キッズ・アート・プロジェクト 枚方合唱協会	2,055人	614,421円
平成 22	11	3	とれぶりんか劇団 劇団 SE・TSU・NA キッズ・アート・プロジェクト	—	—
合計	54	31		10,540人	2,917,961円